



日本テクノ・ラボ（株）
(札幌アンビシャス：3849)

**2021年3月期 第3四半期
決算補足説明資料**



February 10, 2021

<https://www.ntl.co.jp/>

3Q総括と4Qの取り組み

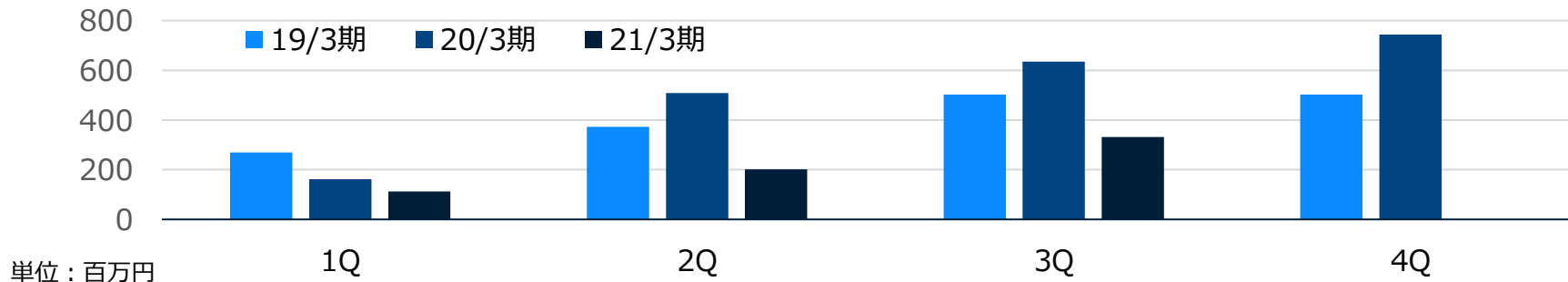
3Q総括

- 売上高は前年同期比△49.6%減で着地。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が停滞、受注および納品までのプロセスの長期化から、上期に受注が進まなかったことが影響。

4Qの取り組み

- 新機能を搭載したプリンタコントローラを中心に積極的に受注活動を展開。
- 顧客ニーズを先取りし各製品の機能強化に向けR&Dにも注力。
- 新型コロナ禍における働き方改革および業務効率の改善の取組を継続。

受注高推移



損益計算書サマリー



新型コロナウイルス感染症の影響から、上期の受注減が響き、イメージング & プリンタ事業が前期比△85%の減収と苦戦。

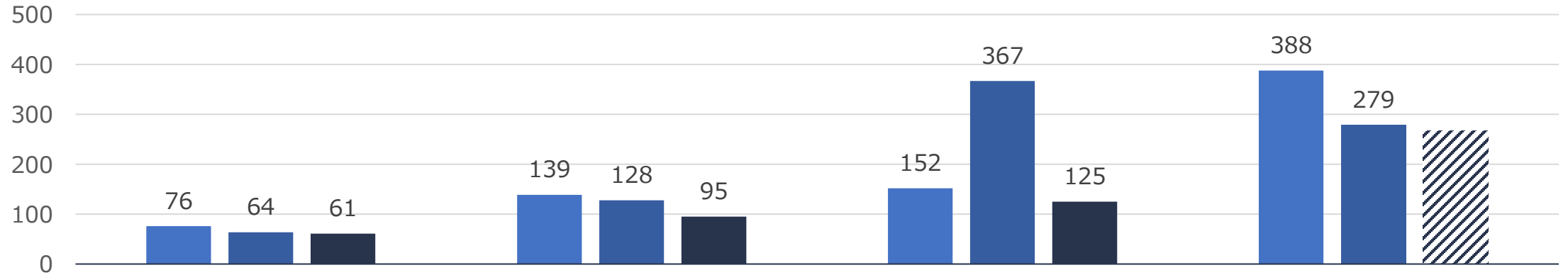
映像セキュリティが好調のセキュリティ事業がほぼ前期並みと健闘したものの、全体では前期比△49.6%の減収。

単位：百万円	2021/3期 3Q実績	2020/3期 第3四半期実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	282	560	△277	△49.6%
営業利益	△ 130	79	△210	—
経常利益	△ 138	76	△215	—
四半期純利益	△ 112	38	△112	—

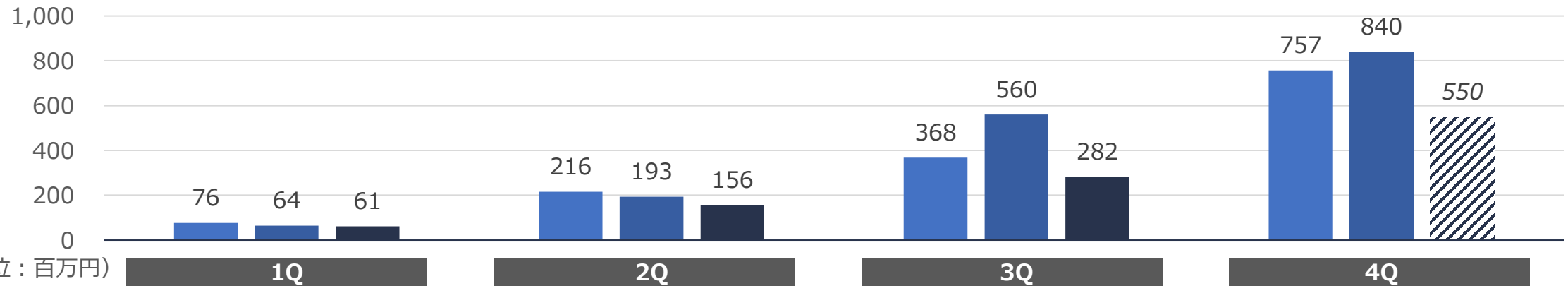
四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移

■ 2019/3期 ■ 2020/3期 ■ 2021/3期



累計売上高推移



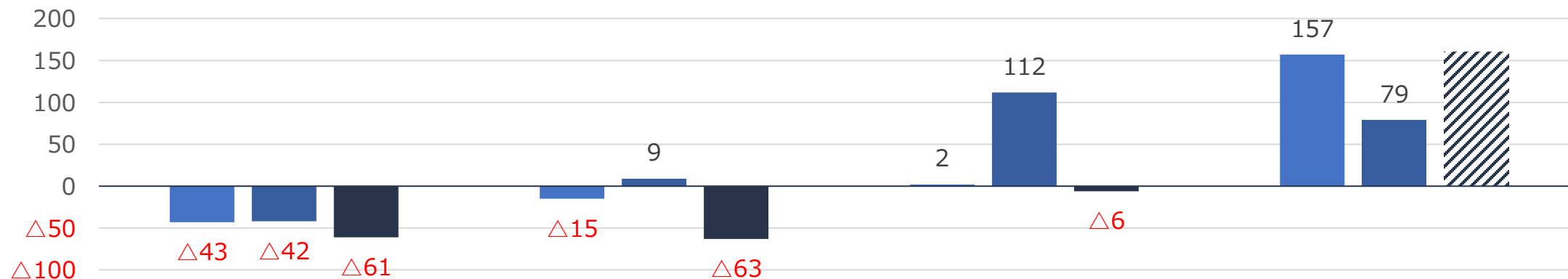
(単位：百万円)

四半期業績推移（営業利益：過去3期比較）

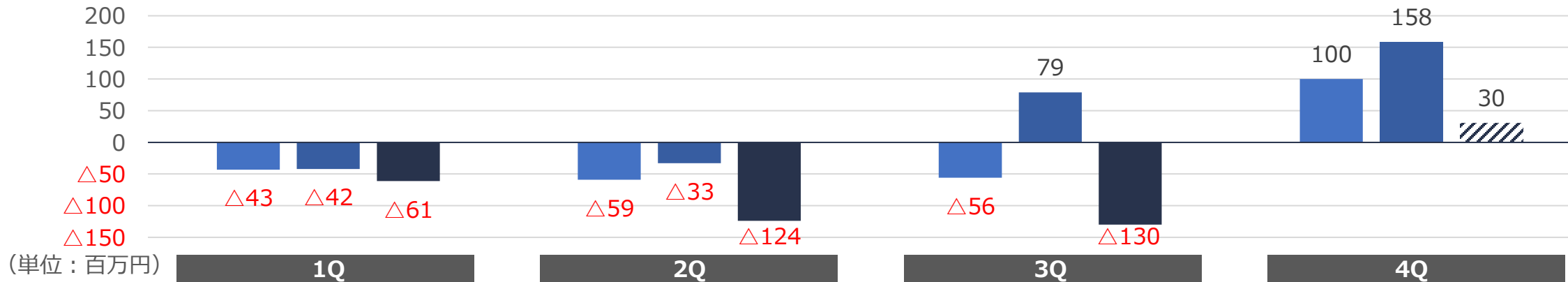


四半期毎の営業損益推移

■ 2019/3期 ■ 2020/3期 ■ 2021/3期



累計営業利益推移



(単位：百万円)

セグメント別情報 売上高



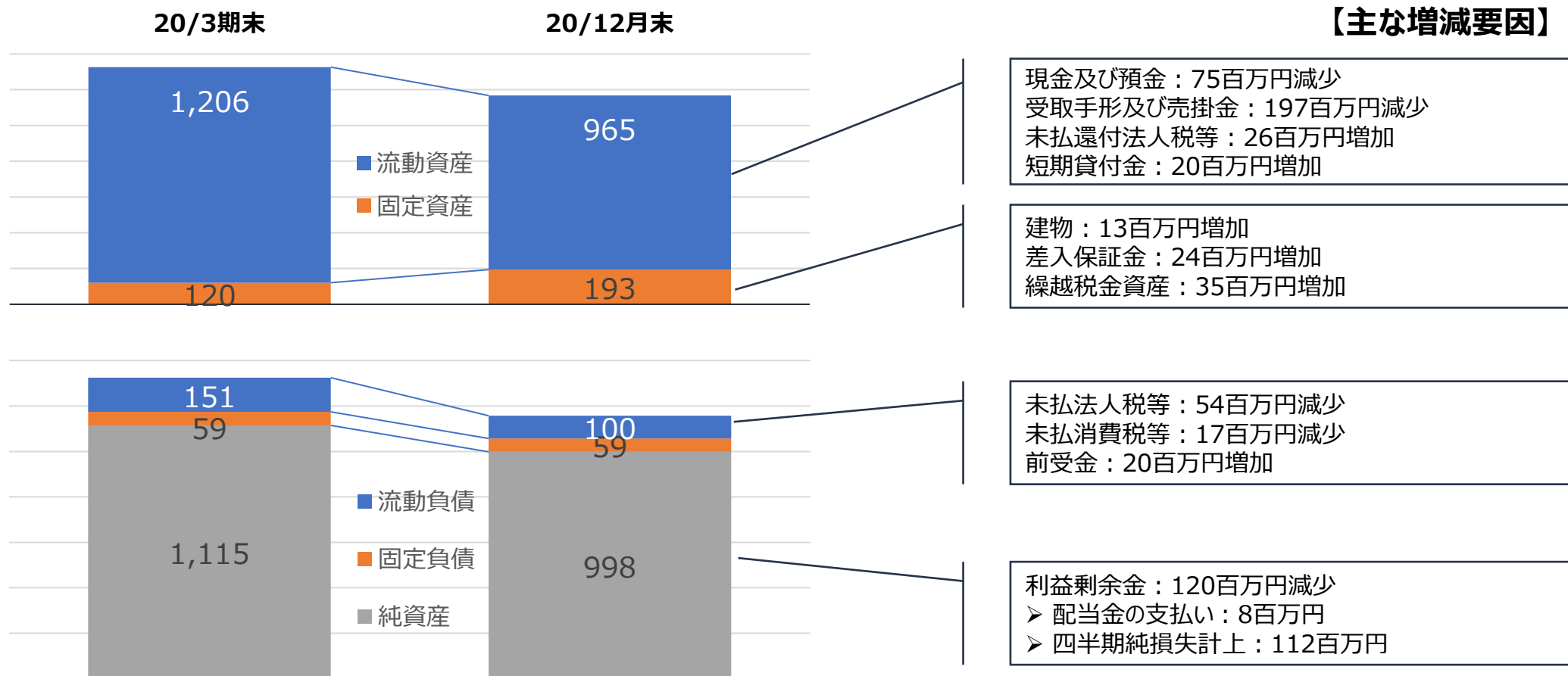
単位：百万円	2021/3期 3Q		2020/3期 3Q		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング& プリンタコントローラ	45	16.0%	309	55.3%	△264	△85.4%
ストレージソリューション	13	4.7%	16	3.0%	△3	△20.8%
セキュリティ	214	75.8%	219	39.1%	△5	△2.4%
ビジネスソリューション	9	3.4%	14	2.6%	△4	△32.1%

セグメント別情報 セグメント利益



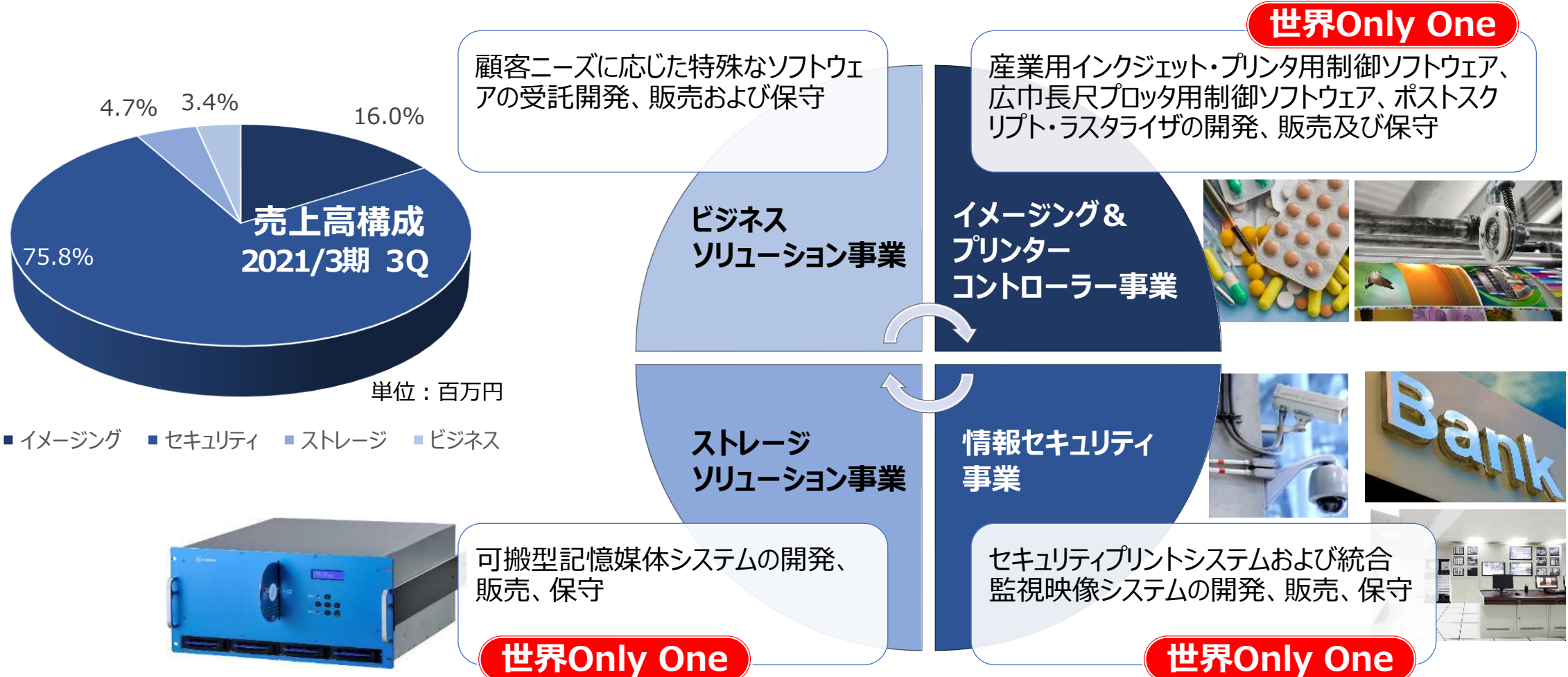
単位：百万円	2021/3期 3Q	2020/3期 3Q	前年同期比較
	セグメント利益	セグメント利益	増減額
イメージング& プリンタコントローラ	△ 19	140	△159
ストレージソリューション	△ 21	△26	+5
セキュリティ	24	67	△43
ビジネスソリューション	△ 0	3	△3

貸借対照表



単位：百万円

事業領域：セグメント





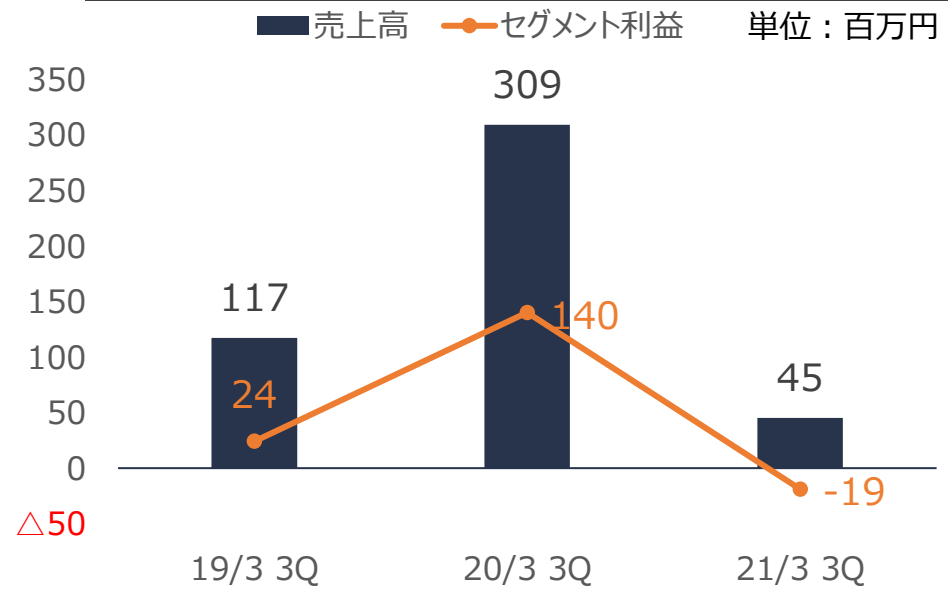
2021年3月期 第4四半期の取り組み セグメント別のポイント



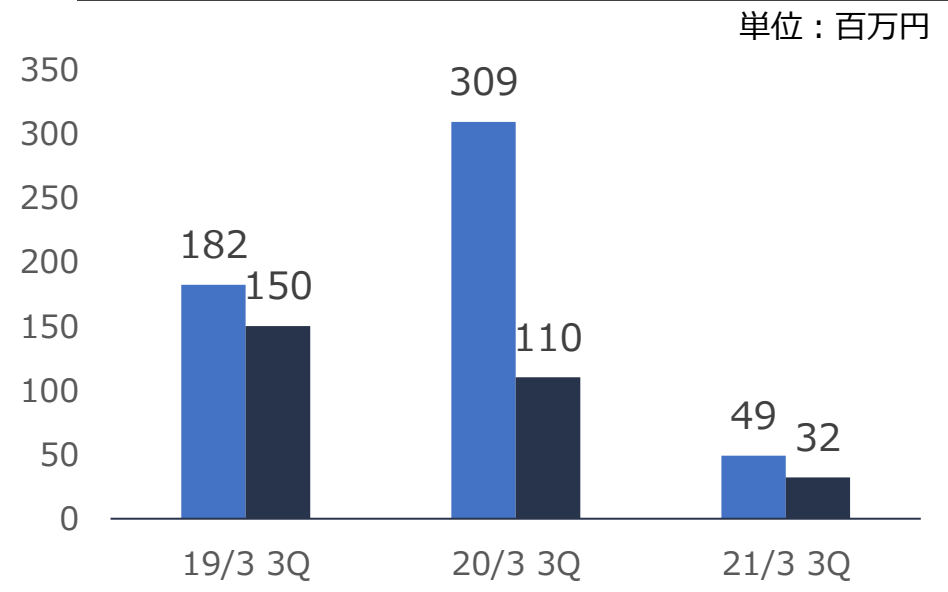
イメージング&プリンターコントローラー事業

- 印刷品質維持のための新機能搭載バージョンを中心に、今期中の受注、納品に注力。
- 大手2社との中長期案件の受注・納品本格化に向け経営資源を投下。
- 有機ELディスプレイのカラーフィルター製造用インクジェット吐出装置、3Dプリンタヘッド制御装置等将来的プロジェクトも積極的に推進。

3Q売上高とセグメント利益



3Q受注高と受注残高

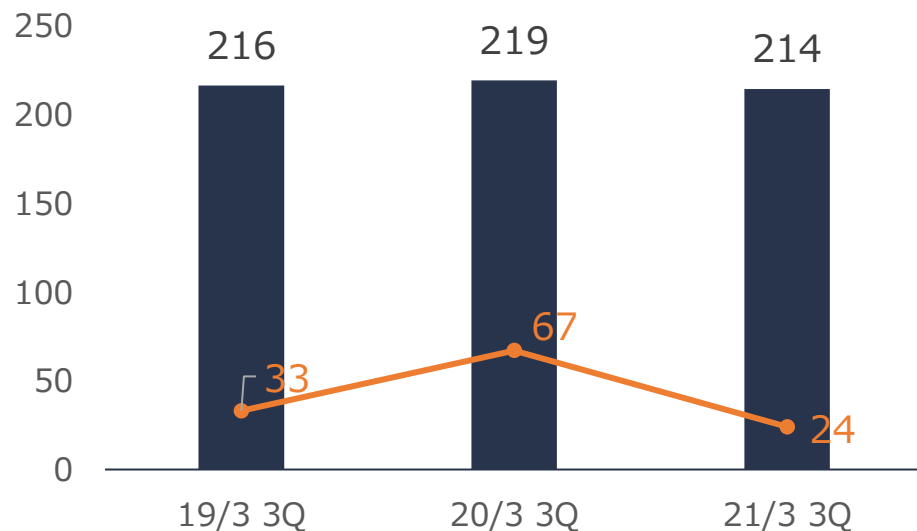


セキュリティ事業

- 印刷セキュリティ管理に注力。某中央官庁向けに導入が決定。納品準備中。他社製品からのリプレイスにより、累計で約30か所に納入実績がある市役所等に向けて拡販強化。
- 映像セキュリティは、グローバル企業からの引合いも増加。継続的に新機能開発を実施し、新たな市場の開拓を目指す。

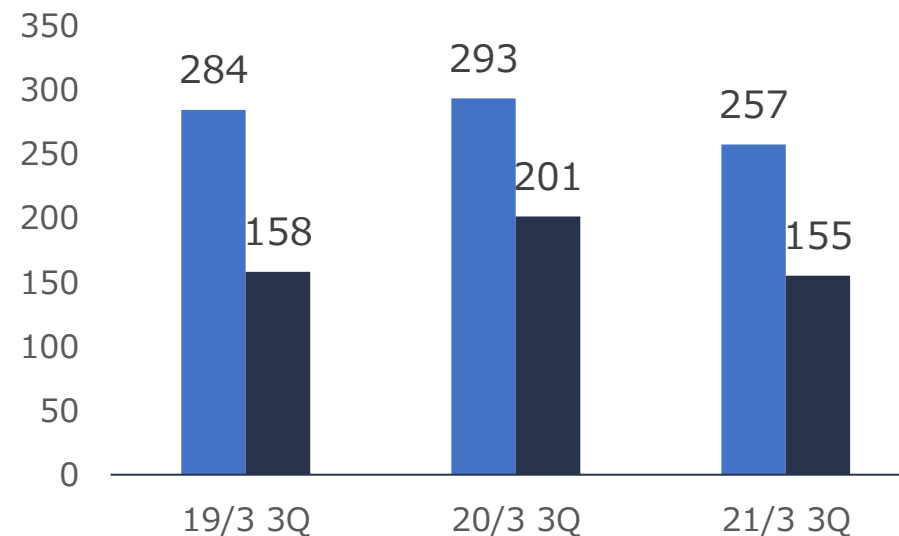
3Q売上高とセグメント利益

■ 売上高 ■ セグメント利益 単位：百万円



3Q受注高と受注残高

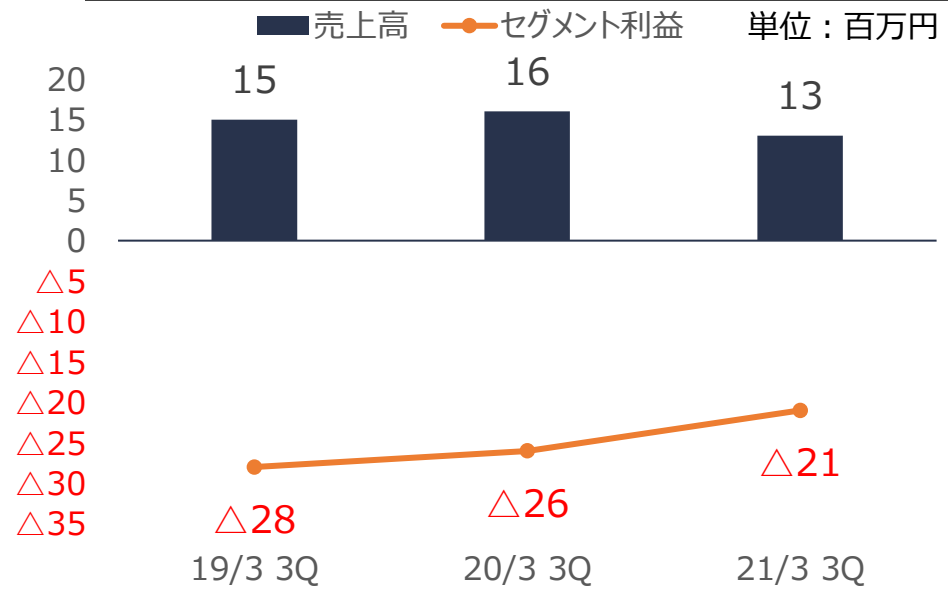
単位：百万円



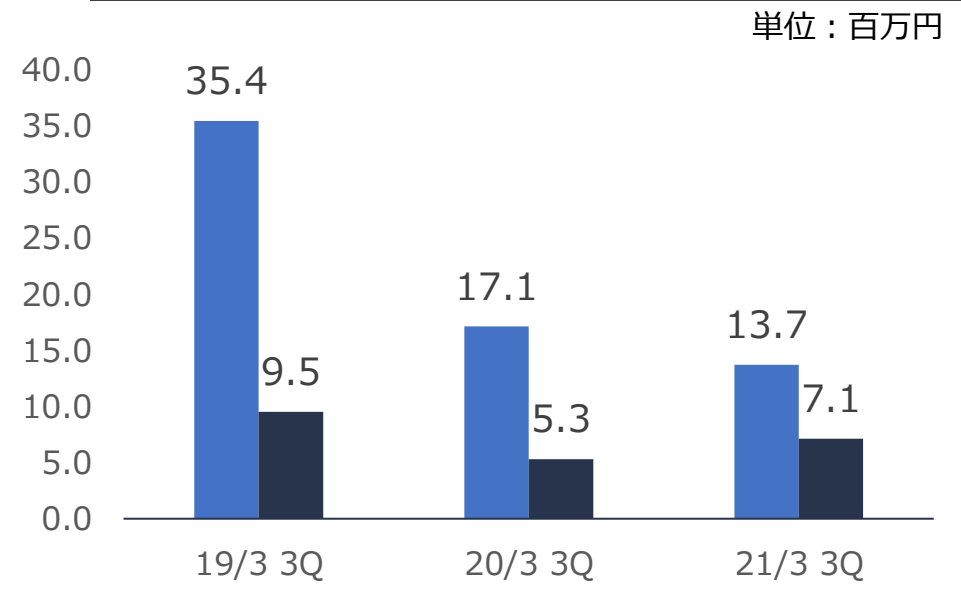
ストレージソリューション事業

- 現在注力しているブルーレイメディアカセットに加え、テープメディアを使用することによる、より安価な仕組みの構築。
- 納入実績のある医療機関、研究機関等の他、ニーズが高いと思われる国家プロジェクト、先端研究分野、テレコム産業などへの納入を図る。

3Q売上高とセグメント利益

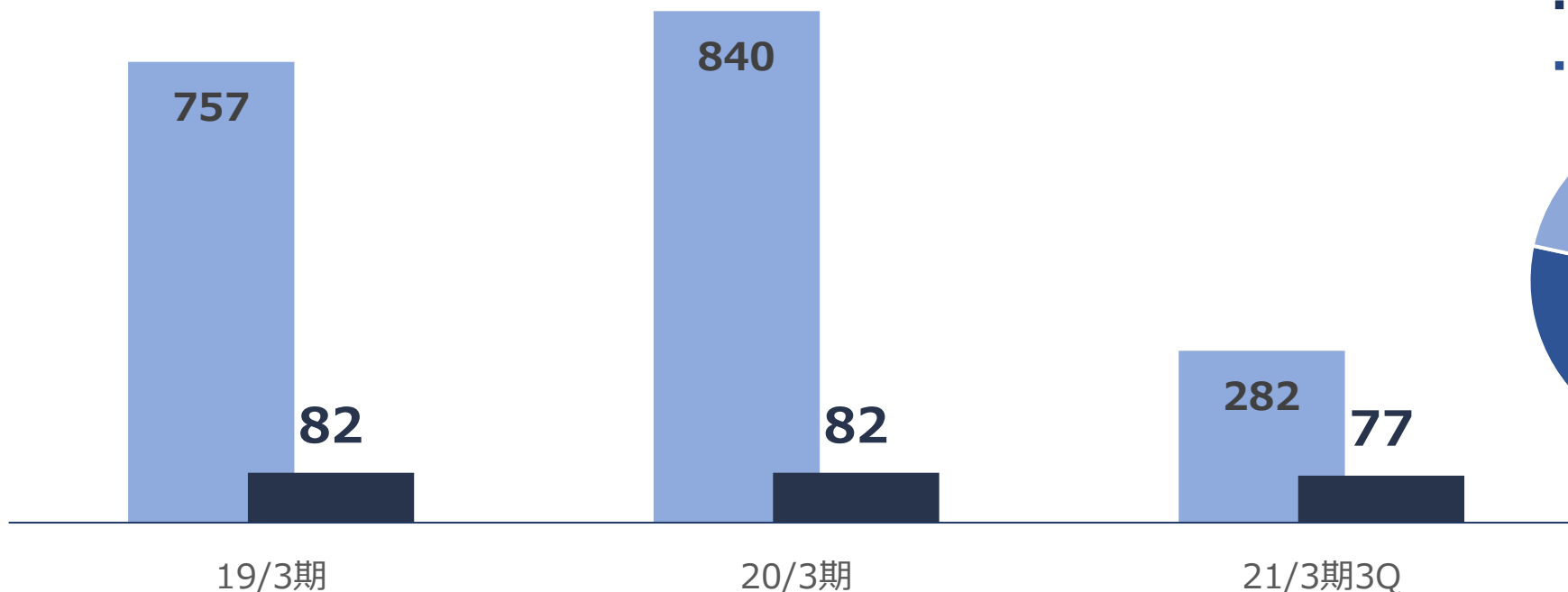


3Q受注高と受注残高



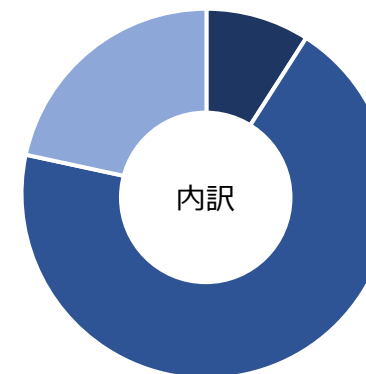
将来の収益獲得のため積極的な研究開発投資を継続

■ 売上高 ■ 研究開発費



R&Dセグメント別内訳

- イメージング&プリンタコントローラ
- セキュリティ



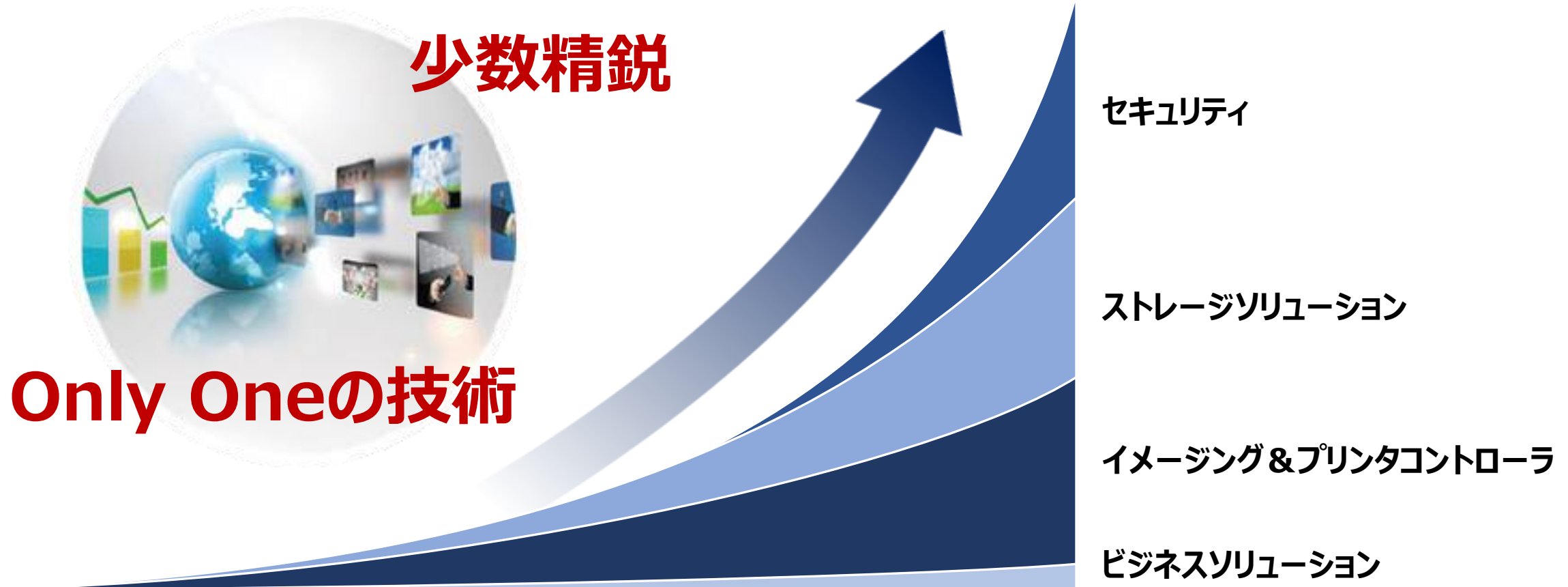
単位：百万円

2021年3月期通期業績予想について

当期は、昨年度第3四半期より顕在化したコロナ禍により、当初予定していた既存顧客からの受注が激減したことにより売上が大きく減少し業績は低調に推移いたしました。コロナ禍により一時停止していた大口顧客の事業の再開に伴い、商談も活発化しはじめてはいるものの、当第4四半期は、既に受注している製品を確実に納品することと、当社が来年度に納品するための案件を受注することに注力してまいります。

	2021/3期 予想	2020/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	550	840	△290	△34.6
営業利益	30	158	△128	△81.1
経常利益	30	156	△126	△80.8
当期純利益	20	87	△67	△77.1
一株当たり配当金 (円)	10.0	5.0		

中期成長イメージ





IR連絡先

管理部

電話：045-263-8546

<https://www.ntl.co.jp/>



本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。